

# 海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

## セッション4：気候変動への対応

Photo credit: Nick Hall

### Mwanus Endras 部族リーダー・ネットワーク

パプアニューギニア、マヌス島南海岸

#### 1) 当プロジェクトの主眼点

Mwanus Endras 資源開発ネットワーク／部族リーダー・ネットワークは、1つの協定（Niapio 協定）に基づいて集まり、共通の歴史と血筋を共有している単一の部族として自らを認識している 8 つの部族地域の首長から構成される。これらの部族は、1 つの信仰と単一の現地言語を持っている。首長は、すべての住民が、海および海洋資源を持続可能な方法で管理し、部族間で団結して幸福な社会と、人々の健康のビジョンを達成することを支援するために、資源、情報、スキルの共有に関して効果的に協力することに合意した。この協力と団結によって、住民は、部族間で、および政府とその他の開発パートナーに対して、より適切な政策と支援を主張することができるようになる。Mwanus Endras Asi 部族リーダーと住民は船乗りであり、生活のすべては海および海洋資源に依存しているため、海を部族の生命と見なしている。

#### 2) 参加組織その他のパートナー

Mwanus Endras Asi 部族リーダー・ネットワークは、8 つの会議／部族地域を代表する首長会議によって主導される。住民は、タイタンと呼ばれ、マヌス島のタイタン語を話す。この組織の理事は元学者で、この地域の現地民（Tawi Asi）でもある Pongie Kitchawen 博士である。

Mwanus Endras Asi 部族民ネットワークは、5 つの現地政府の管轄地域に配置されている。つまり、住民は、5 つの異なる現地の政府地域（LLG）、マヌス島の南方の離島、環状サンゴ島に分散している。この部族ネットワークは、その設立以降このネットワークを支援している指導パートナーとして、自然管理委員会と緊密に協力している。最近、このネットワークは、この地域の出身であるが、現在国内の他の地域や外国に居住している専門家が含まれるように拡大された。マヌス州政府も、このネットワークを認可し、関与している。部族リーダー・ネットワークと協力している主な国内政府機関には、パプアニューギニア国内漁業機関や気候変動開発機関がある。

#### 3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

部族リーダー・ネットワークに対して、次の能力開発（キャパシティ・ビルディング）活動が非常に有効であった。

- 多くの環状サンゴ島と離島に分散しているが、Niapio 協定を策定し、比較的小さい諸島の住民ネットワーク間でリーダーにより規定された原則について合意するために、集合することができたリーダー間でパートナーシップを構築した。

- 現在、Mwanus Endras と呼ばれているタイタン部族の伝統的なリーダーシップと統治の強化。住民とリーダーは、定住の歴史を振り返り、血筋が共通していることを理解し、単一民族として自らを認識することができた。住民とリーダーは共に、リーダーシップが能力開発の重要な部分であることを認識した。したがって、ネットワークが他の持続可能な海洋開発プログラムに進む前に、前もってリーダーシップ能力を開発することが最も重要であることに合意した。
- 組織開発と能力開発は、組織の管理と運営について議論するために集まった現地部族リーダーにとって不可欠であった。これまでに、部族リーダーは憲章を策定し、このネットワークはパプアニューギニア投資推進機関に登録された。したがって、このネットワークは、部族政府と西部の正式な政府機構によって認可済みであり、パプアニューギニア政府の適切な機関による認可プロセスを受けている。
- ジェンダーと開発（GAD）にも重点が置かれている。女性の取り組みが確実に認められるように、女性のサブネットワークが設立された。
- 現地住民がもっと効果的に海洋資源を監視できるように、生物監視研修が、現地の監視員およびリーダーとともに 2015 年に実施された。
- 2016 年の初めにニューアイルランド州ケビエンのパプアニューギニア国立漁業大学で、ナマコ管理研修プログラムが、部族リーダーとネットワークの他のメンバーに対して実施された。
- 部族ネットワーク地域内の現地海洋管理領域で、岩礁を含むすべての環状サンゴ島や離島の地図の作成と描画を担当する空間計画プロジェクトが、2015 年 8 月から 9 月にかけて実施された。現在、ほとんどの環状サンゴ島と離島には地図があり、住民が気候変動の影響に対して海および海洋資源の管理に関する賢明な決定を下すために役立っている。

#### 4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

このプロジェクトは、リーダーが住民に会って、海の持続可能な利用、監視の結果、実施する必要が生じることがある地図の作成、その他の研修について助言する際に、距離や移動費用などの交通に関する課題に直面した。

もう 1 つの障害は、部族政府機構と部族リーダーの決定を公的に認定する政策が欠けていることである。マヌス島などの州では、Mwanus Endras とその他のマヌス民族の伝統的統治の強化に重点を置く政策が必要である。

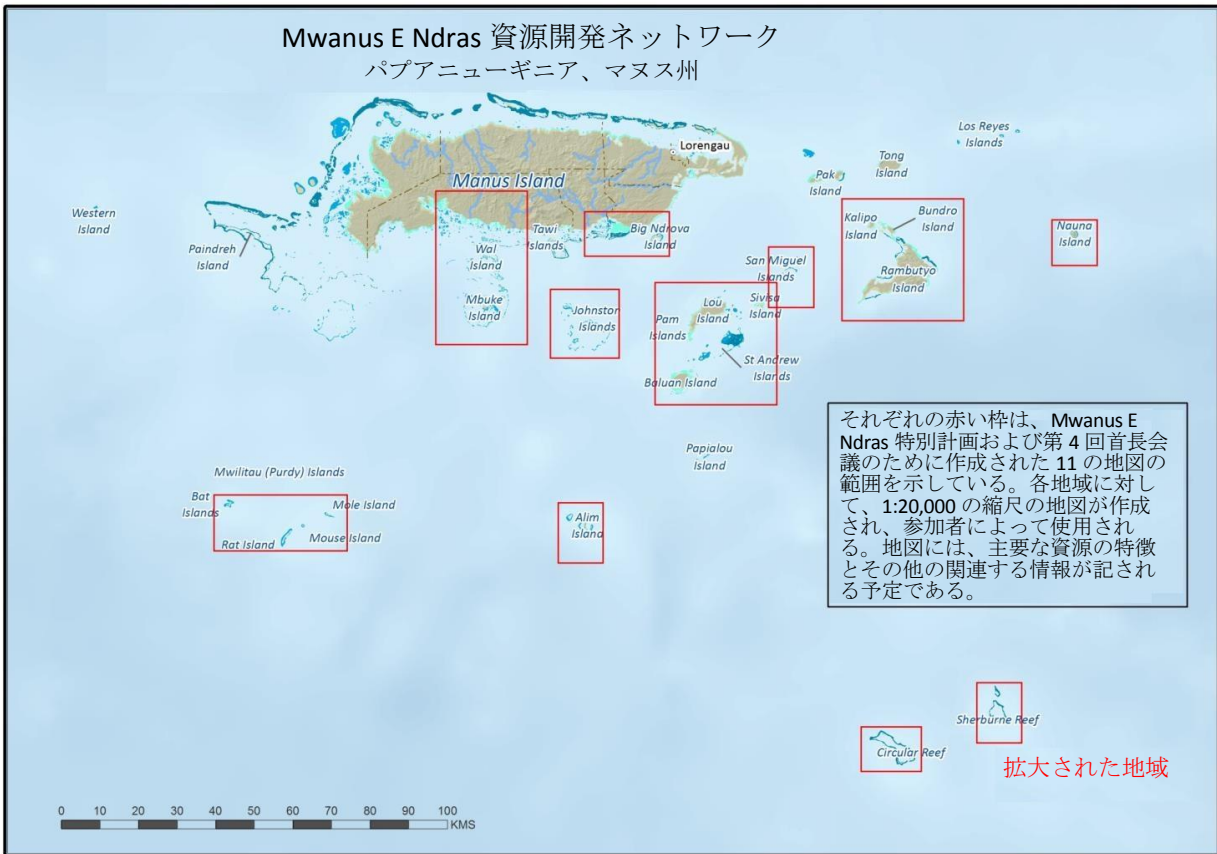
また、従来のリーダーと部族民は、経済権限の向上による恩恵を受ける。これには、漁業製品の州市場、国内市場、国際市場へのアクセスが含まれる。

州および国の他の地域でこの種類の成功した伝統的リーダー・ネットワークを展開するためには、より高いレベル（特に州レベルと国レベル）で、政治的能力を育成する必要が生じる。

#### 5) このプロジェクトの次の段階

現在、部族リーダー・ネットワークは、住民の生活およびより広範な経済権限付与プログラムに海洋管理を関連付けることを目的として、持続可能な生計プログラムに取り組んでいる。ま

た、共同的な社会を形成し、持続可能な資金調達を支援するために、持続可能な資金調達制度およびその他の機構を構築している。



注：Web サイトが近日中に作成され、アップロードされる。